

# けんだんれつ アキレス腱断裂

## 概要

アキレス腱は下腿の後面にある腓腹筋とヒラメ筋から成る人体で最も太い腱です。アキレス腱断裂は、30～40代ではスポーツ活動時に、50代以降では階段を踏み外すなどのアクシデントで起こります。

## 症状は…？

スポーツ活動時の強い蹴り出し(図①)やジャンプ・着地の瞬間に、『後ろからアキレス腱を蹴られた』、『ボールがあたった』という感じがします。その際『プチッ』と切れるような音が聞こえることがあります。その後痛みと脱力で歩行困難となります。断裂後は(図②)のように、アキレス腱のふくらみが消え陥没を生じます。

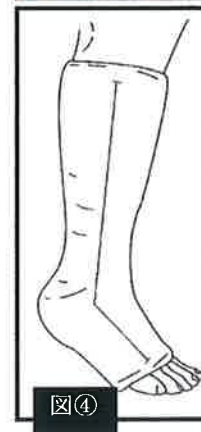
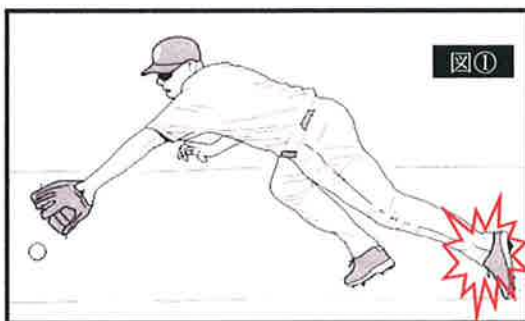
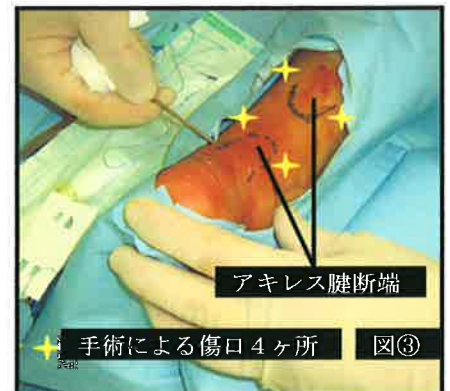
## 治療は…？

まず大きく分けて保存療法、手術療法に分けられ断裂程度や患者さんの要望に応じて治療法を決定します。

当院では手術療法の中で比較的侵襲の少ない経皮的縫合術を行います。(図③) これは保存療法に比べて再断裂のリスクが低いのが利点です。

術後は約8週間のギプス固定(図④)、または機能的装具固定(図⑤)を選択します。ギプス固定ではアクシデントによる再断裂のリスクが低く、装具固定では早期からの荷重や可動域訓練が可能となる、筋萎縮が予防できる、など各々メリットがあります。

また、手術療法に抵抗感を感じる方は約10週間のギプス+装具固定という選択肢もあります。



不明な点がございましたらお気軽にスタッフにご相談ください